



## 火山編～事前の備えが大事～



気象庁HP▲

大きな噴石の飛散・火砕流の速度は、時速100キロメートル以上に達することがあります。気象庁が発表する火山情報に注意するとともに、万が一噴火が発生した場合は、**いち早く身を守る行動をとってください。**



## 地震編～冷静な行動を～



首相官邸HP▲

揺れを感じたり、緊急地震速報を見聞きした場合、あわてず**身の安全を確保**してください。

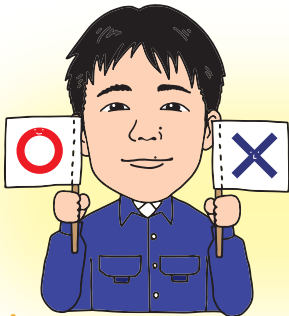
### 揺れを感じたら

- 座布団や雑誌など身近なものでしっかり頭を守りましょう！
- 落下物等から身を守るため、机の下など、安全な場所に隠れましょう！



### 揺れがおさまったら

その場にいる家族・友人などと複数人で安全な場所に避難しましょう！



## 岩船先生に挑戦！

監修：岩船昌起先生  
鹿児島大学 教授  
県防災専門アドバイザー

まさかに備えた

## 防災 ○ × クイズ



非常食及び飲料水は、**最低3日分**必要である！



最低**3日分必要**です。成人1人あたり1日3リットルの水と2,000キロカロリーを目標に栄養補助食品などの準備をしてください。

- ＊ できれば、1週間分備蓄しておきましょう。特に離島は物流が滞ることも予想されますので、事前の備えが大切です。



災害時の情報収集には、**SNS**が最も効果的である！



**県や地方気象台などの公式HP**から情報収集を行いましょう！

- ＊ SNSを効果的に活用することは有効ですが、間違った情報に惑わされないようにしましょう。



洪水時の避難(ひざまで水があふれている場合)の際は、**長靴**で避難すべきである！



**ひもで締められる運動靴**が望ましいです。傘や杖で、歩く先の安全を確かめながら歩きましょう。

- ＊ 水の流れや自分の体力によっては、危険な場所もあるので事前の避難がベストです。水深が腰まである場合は、無理に避難せず、救援を待つことも検討しましょう。



家にいる時に大地震が発生。最初にすることは、**ガスの元栓を締めに行く**ことである。



まずは**机の下など、安全な場所に身を隠して**揺れが収まるまで待ちましょう。震度6～7クラスの揺れがある間は、ガスの元栓を閉めたりドアや窓を開けることはできません。

- ＊ 日頃から柵や家具が倒れないように壁や天井に固定するとともに、高い所に物を置かないようにしましょう。

### 噴火が発生したら

- 丈夫な建物や物かげに身を寄せましょう！



### 登山の前に

- 事前に気象庁が発表する火山情報を確認しましょう！
- 火山防災マップを見て、危険箇所、避難経路を確認しましょう！



## 津波編～すぐに高いところへ～



首相官邸HP▲

強い揺れや長い揺れを感じたり、津波警報等を見聞きした場合、海や川から離れ**可能な限り高いところへ避難**してください。

### 海岸・河川付近にいたら

揺れを感じたら、津波警報等が発表されていなくても、いち早く海や川から離れましょう！



### 避難する際は

- 建物なら最上階へ！「ここまでくれば安心」と思わず、とにかく高いところへ逃げましょう！
- いったん波が引いても、津波警報等が解除されるまでは避難を継続してください。



### 災害時に役立つサイト・SNS

鹿児島県  
危機管理・防災HP



鹿児島県  
防災Web



鹿児島  
地方気象台



鹿児島県  
河川砂防情報  
システム



鹿児島県  
危機管理防災局  
Twitter

